



ゆ

ゆくも
行く雲を

いくとせ
幾年見たか

だいかんしよあど
代官所跡

野辺地代官所は盛岡藩の野辺地通（野辺地村、馬門村、有戸村、横浜村）を治めていました。代官のもとで下役をはじめ多くの役人が勤めていました。税金を集めたり犯罪をとりしまったりなど、いろいろな仕事をしていました。

だいかんしよ
代官所



よ

よろこ
喜んで

かぞくあし
家族で味わう

ごせりまんじゅう
御祭礼饅頭

野辺地のお祭りを来た人達にふるまうために作られる饅頭です。米粉をこねてアンを包み花の木型でおし、赤・黄・緑の色を付けて蒸します。色あざやかな御祭礼饅頭ができあがります。また、ごほうびのおやつに運動会や学芸会の時も作りました。

ごせりまんじゅう
御祭礼饅頭



ら

らでんほどこ
螺鈿が施された

もくたいしつき
木胎漆器

野辺地の向田遺跡からみつかりました。大きさは縦四十六センチメートル、横三十二センチメートル、高さ二十五センチメートルで、約五五〇年前のもので、縄文時代の赤塗り漆器に巻き貝が飾りとしてはめこまれています。漆器に貝をはめこむ螺鈿細工のルーツではないかともいわれています。

あかぬりもくたいしつき
赤塗り木胎漆器（町指定有形文化財）



り

りっぱ
立派な

ながれづくり
流造の屋根

ことひらぐう
金刀比羅宮

野辺地町は、江戸時代から港町として発展してきたので、海上安全の神様である金毘羅様が広く信仰されてきました。野辺地八幡宮境内に一八二二年に建てられた本殿は、一間社流造で屋根は柿葺です。上り龍、下り龍などのすぐれた彫刻がほどこされています。

ことひらぐうほんだん
金刀比羅宮本殿（県重宝）